



特選の早生ふじ出荷



徹底した品質管理



海外パレットに巻く



鏡面扉が輝く

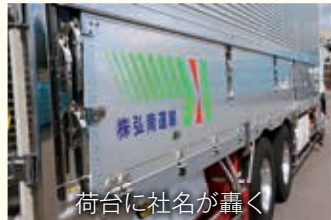


(株弘南運輸の佐藤さん(46歳)が台湾向けリンゴを運ぶ！

ひとときを輝くパートナー
「おうちのリンゴどきどき行く編」



ナンバーフレームがgood



荷台に社名が轟く



メッキがインパクト大



最新のLEDテール

29年産リンゴも本格化し、10月上旬には「早生ふじ」の入庫がピークを迎えた。糖度が高く、酸味が少ない特徴の早生ふじを運ぶのは、(株)弘南運輸のドライバー佐藤さん。当JAで徹底した品質管理が行われたあと、1パレット当たり48ケースのアイスBOXが巻き返され、計17パレットの816ケース積み込まれた。行先は台湾へ輸出されることから、東京湾に位置する東海海運(株)だ。ここで海上コンテナに移されたあと、大きな船で台湾へ。近年、リンゴが高値となっている背景には、海外への輸出が大きく関係している。また、台湾は最大のリンゴ輸出国となっており販売戦略の一つとして欠かせない存在である。輸出が始まった当初は、高級果実として世界一や陸奥、有袋ふじの大玉が中心に行われてきたものの、近年では地元スーパーマーケットを中心に食味の良い品種が輸出に増えてきているのが現状である。このことから、海外への販路拡大により国内需要のバランスが上手く取れている。価格についても国内消費から輸出にシフトしたことで安定している傾向にある。

魅力
Part 2
農業振興課 広報担当
齊藤 大貴

JA相馬村広報

林檎の森

2017.11 Vol.424

- 発行者
相馬村農業協同組合
〒036-1593 青森県弘前市大字五所字野沢23-1
TEL.0172-84-3215 FAX.0172-84-3497
- 編集
総務課広報
ホームページURL <http://www.ja-souma.or.jp/>
e-mail:soumuka@ja-souma.or.jp
- 発行日
2017年11月15日

JA 相馬村概況

〈平成 29 年 10 月末日現在〉

組合員数	878 人
(うち准組合員数)	357 人
出資金	638,860 千円
貯金額	8,987,893 千円
共済保有高	3,539,895 万円